

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	火災現場において、自転車を押していた通行人を誘導した際に、消防車の放水口に手が当たり負傷したもの。
3. 体験した事例の中心的要素	通行人がバランスを崩したので避けようとしたときに、放水口に手が当たり負傷。
4. 体験した事例の原因・理由	通行人の行動に関する危険が予知できなかった。

### 【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

### 【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 21 年 3 月 15 日 午前 5 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：道路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：脱臼骨折
7. 事例体験時の活動	火災撤収、 [ 防火建造物 ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：自転車を押している通行人を避けようとした。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ 25 ]歳、 勤続年数[ 4 ]年、 現場経験年数[ 4 ]年、 階級[ 消防士 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 機関員 ]
○当事者B	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1		火勢鎮圧	
経過 2	指揮本部長が	撤収命令	
経過 3	Aが	撤収作業実施	
経過 4	Aが	自転車を押している通行人を避けようとして負傷	
経過 5			
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。危険事象の対応方法を知らなかつた。集中力、注意力がなかつた。避難・退避がうまくいかなかつた。周囲の視界が確保できていなかつた。足元の安全が確保できていなかつた。現場周辺の地理がわからなかつた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

#### b 注意力が欠如していた

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい  |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

いいえ
-----

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

事故に対する安全管理の徹底

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

災害発生状況見取図

災害発生日時 平成21年3月15日(日) 午前5時30分頃

